

【資料 4-14】人文・社会系若手研究者出版助成による出版物 (平成 28 年度)

	氏名	書籍タイトル
1	前川 直哉	『<男性同性愛者>の社会史—アイデンティティの受容/クローゼットへの解放』 (作品社、全 243 頁、2017 年 3 月)
2	和崎 光太郎	『明治の<青年>—立志・修養・煩悶』 (ミネルヴァ書房、全 330 頁、2017 年 3 月)
3	岡田 彩希子	『表現する「私」はどのように生まれるのか—精神分析と現代美術の語らいから』 (ミネルヴァ書房、全 224 頁、2017 年 3 月)
4	程 遠巍	『中華世界における CEFR の受容と文脈化』 (ココ出版、全 192 頁、2017 年 3 月)
5	利根川 由奈	『ルネ・マグリット—国家を背負わされた画家』 (水声社、全 273 頁、2017 年 3 月)
6	株本 千鶴	『ホスピスで死にゆくということ—日韓比較からみる医療化現象』 東京大学出版会、全 336 頁、2017 年 3 月)
7	澤井 努	『ヒト i P S 細胞研究と倫理』(プリミエ・コレクション 76) 京都大学学術出版会、全 245 頁、2017 年 4 月)
8	坂井 礼文	『無神論と国家—コジェーヴの政治哲学に向けて』 (ナカニシヤ出版、全 304 頁、2017 年 2 月)
9	須川 まり	『表象の京都—日本映画史における観光都市のイメージ』 (春風社、全 400 頁、2017 年 3 月)
10	豊川 祥隆	『ヒューム哲学の方法論—印象と人間本性をめぐる問題系』 (ナカニシヤ出版、全 228 頁、2017 年 3 月)
11	松野 さやか	『ヤスパースの実存思想—主観主義の超克』(プリミエ・コレクション 81) (京都大学学術出版会、全 254 頁、2017 年 4 月)
12	渡辺 洋平	『ドゥルーズと多様体の哲学—二〇世紀のエピステモロジーにむけて』 (人文書院、全 370 頁、2017 年 2 月)
13	都留 ドゥヴォー 恵美里	『日系ブラジル人芸術と<食人>の思想—創造と共生の軌跡を追う』 (三元社、全 242 頁、2017 年 3 月)
14	藤岡 真樹	『アメリカの大学におけるソ連研究の編制過程』 (法律文化社、全 178 頁、2017 年 3 月)
15	神本 秀爾	『レゲエという実践—ラストフアーライの文化人類学』(プリミエ・コレクション 80) (京都大学学術出版会、全 272 頁、2017 年 3 月)
16	志村 真幸	『日本犬の誕生—純血と選別の日本近代史』 (勉誠出版、全 256 頁、2017 年 3 月)
17	辻 浩和	『中世の<遊女>—生業と身分』(プリミエ・コレクション 82) (京都大学学術出版会、全 380 頁、2017 年 4 月)

	実績
平成 22 年度	8
平成 23 年度	11
平成 24 年度	12
平成 25 年度	9
平成 26 年度	13
平成 27 年度	19
平成 28 年度	17
計	89